

被爆地訪問の要請に関する要望

平素から、広島県の平和行政の推進につきまして格別の御支援と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、人類史上初の原子爆弾によって、未曾有の惨禍を体験した広島にとりまして、核兵器のない平和な国際社会の実現は、75年を経ても今なお苦しみ続けている被爆者の悲願であり、我々に託された重要な使命です。

本県では、政治指導者をはじめとした各界のリーダーに、被爆地を実際に訪問していただき、直接、被爆の実相に触れ、核兵器の非人道性について深く認識いただき、核兵器廃絶に向けた信念を共有していただくことが重要であると考え、被爆地訪問を働きかけてまいりました。

こうした中、2016年のオバマ米国大統領の広島訪問や昨年ローマ教皇の被爆地訪問が実現し、核兵器のない平和な世界の実現に向けた非常に力強いメッセージを発信していただき、世界中の方々に核兵器廃絶へ向けた強い勇気を与えるものになったところであり、世界的に影響のある方々に、被爆地を訪れていただき、平和のメッセージを発信していただくことは非常に重要なものになると考えています。

このため、東京オリンピック・パラリンピックが開催される際には、大会に参加する選手や大会にあわせて来日する各界のリーダー等に、是非、被爆地を訪問していただき、平和のメッセージを発信していただけるよう、被爆地訪問の働きかけを強化してまいります。

つきましては、日本政府におかれましても、格別の御支援、御協力をいただきますよう、お願いいたします。

令和 2 年 3 月 26 日

広島県知事

湯崎 英彦